

町長室から

町長 田川 政幸

3月となり、春が近づいてきました。年度末でなにかと慌ただしい日が続いているのではないのでしょうか。新型コロナウイルス感染症の発生から1年が過ぎ、いよいよワクチンの接種が始まりました。医療従事者からの接種となりますが、新型コロナウイルス感染症の収束の第一歩となるよう、町民の方がたに速やかに接種してもらえよう医師会等と連携を取り、接種体制を整えていきます。

オリンピック組織委員会の会長人事で大きな問題となった東京オリンピックについては、新会長には成功に向け安全安心な開催と国民が一体となって応援できる環境を作り上げていただけるものと期待しています。

今年に入り能代山本地域だけではなく、県内において火災が多発し、尊い命も失われています。日頃から火災予防には十分気を付けているとは思いますが、暖房器具や調理器具等の取り扱いには改めて注意をお願いいたします。

結びに、まだまだ寒暖の差が激しい日が続きます。町民のみなさんにおかれましては、感染症予防に十分に配慮し、健康で充実した毎日を送られますことを祈念いたします。

地域に役立つように

喜久水酒造が消毒液寄贈

2月10日、役場本庁において喜久水酒造合資会社（能代市）より消毒液の寄贈をいただきました。

寄贈された消毒液は、県内9つの酒蔵が共同開発したもので、アルコール度数が75%、内容量300mlのものでした。

喜久水酒造では、能代市山本郡の各市町に寄贈しており、三種町には60本の消毒液が寄贈されました。喜久水酒造の小笠原治さんは「酒づくり用のアルコールにグリセリンを混ぜた高濃度エタノール製品で、一般的な消毒液と消毒効果は同じです。少しでも地域の役に立ててほしい」と語り、田川町長は「教育機関や施設など、必要とされる場所で使わせていただきたい。企業も大変な時期に大変ありがたい」と感謝を述べました。



▲ありがたく活用させていただきます

町の発展へ

AOS(株)が寄附金

2月16日、役場本庁においてAOS(株)より寄附金をいただきました。

当日は、AOS(株)から沢谷繁男専務取締役と原田要総務管理部長が来庁し、寄附金2千万円の目録を手渡しました。

沢谷専務取締役は「もつと早く寄附したかった。この地域においても信頼されるものづくりをしていきたい。地域雇用も考えながらともに発展していければ」と話しました。

田川町長は「大変ありがたいこと。用途を考えながら町のために活用させていただく」と感謝を述べました。



▲目録を手渡す沢谷専務取締役（左）

100歳おめでとうございます

長寿をお祝い

1月26日、岩谷ミエさんが100歳を迎えられました。ミエさんは、大正10年1月26日、旧鶴川村萱刈沢に生まれ、昭和24年に故由藏さんと結婚。1男1女を育てました。

農業のかたわら子育てに励みました。施設に入所してからは、食欲は旺盛で好き嫌いなく食事を楽しんでいきます。また、同じ入所者と会話を楽しんだり、マイペースのんびりと暮らしています。



▲100歳を迎えたミエさん

